

開講専攻	授 業 科 目	担 当 教 員	必修 選択 の別	単位数
看護学 6, 7 セメスタ -	成人慢性期看護学実習	根本 良子 柏倉 栄子 菊地 史子 伊藤美由紀	必修	4
授業題目		慢性疾患・がんおよび終末期にある成人患者・家族への看護実習		
授業科目の目的・概要及び到達目標等				
<p>概要：成人看護学原論，成人慢性期看護方法論で学習した看護理論・援助方法を臨地実習場において体験し，看護の実践に必要な知識，技術，態度を統合的に取得する。</p> <p>目的：慢性的な健康問題によりストレス・危機状況にある成人患者・家族に対し，看護師と患者の人間関係を基盤に，問題解決の系統的アプローチと看護理論を適用して，成長・発達・適応の可能性を最大限に引き出す看護を実践する能力を養う。</p> <p>目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 慢性的な健康問題によりストレス・危機状況にある成人患者・家族を多面的に理解し，問題解決の系統的アプローチと看護理論を適用して，成長・発達・適応へ向けての援助が出来る。 2. 慢性疾患患者が障害を受容して，日常生活規制の中で自己管理と社会生活への適応が出来るように援助できる。 3. がん患者・家族が，がんと病状段階に応じた治療法を受け入れ，がんと共生しながらQOLの維持向上を目指して，自己管理と社会生活への適応がはかれるように援助できる。 4. 近い将来，死を免れ得ない患者が，余命を意義深く生きられるように，また尊厳を持って死を迎えられる看護援助について理解できる。 				
授業計画				
<p>実習スケジュールは，学内における実習前学習と実習後の振り返り学習，大学病院見学実習の2週間，大学病院病棟実習2週間の計4週間で構成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学内実習：慢性病患者の看護過程の展開に基づき，慢性期患者に必要な日常生活・診療介助援助技術についてグループワーク演習，全体発表，ビデオ学習，文献学習をとおして学ぶ。 2. 見学実習：病棟実習を効果的なものにするために，実習関連施設として，上部・下部内視鏡室，血液浄化部，リハビリ療法室，緩和ケアセンターで患者の治療・看護療養場面に立ち会う見学実習を行う。 3. 病棟実習：学生1名で，慢性的な健康問題を持つ患者1名を受け持ち，看護過程を展開し，受け持ち患者の看護について学ぶ。受け持ち患者の看護の方向性を把握し，適切な看護援助方法を提供し，実施した援助を評価するためにカンファレンスを実施する。 4. 振り返り学習：受け持ち患者に実施した看護援助のプロセスを振り返り，理論的にまとめ発表し，学生間で共有し，成人慢性期看護援助について考えを深め，応用する能力を養う。 				
成績評価の方法及び基準				
出席状況，参加態度，課題レポートを総合的に判断して行う。				
教科書・参考書				
<p>教科書：1. 系統看護学講座専門5，「成人看護学総論」，小松浩子ほか著，医学書院</p> <p>2. 成人看護学慢性期看護論，鈴木志津枝他，ヌーヴェルヒロカワ</p> <p>3. 成人看護学 E,がん患者の看護，氏家幸子監修，廣川書店</p>				